

第12回府中市民協働まつり事業概要書

1. 企画名称

第12回府中市民協働まつり

2. 開催概要

日時 2026年11月28日(土)・29日(日) 10時～16時

会場 府中市市民活動センター プラッツ

主催 第12回府中市民協働まつり／府中市／府中市市民活動センター プラッツ

※特設サイト(7月中旬切替予定):<https://fuchu-planet.jp/kyodomatsuri> 特設サイトURL



3. 開催目的

本イベントは、市民と多様な市民活動団体との出会いと交流を促進し、市民協働によるまちづくりを一層活性化させることを目的として、以下の3点を柱に開催いたします。

1. 市民がまちでの活動に関わるきっかけを見つける

市民一人ひとりが、自身の興味・関心に合った活動を見つけ、地域社会への参加や貢献を始めるための具体的な「きっかけ」となる場を提供します。

2. 参加する団体どうしがお互いの活動を知り、交流する

市内で活動する団体が一堂に会し、互いの活動内容や理念を深く理解し合うことで、新たな連携や協働事業が生まれる機会を創出します。

3. 活動のステップアップや市民協働の輪を広げる

団体の活動を広く市民にアピールし、新たな担い手や支援者を獲得する機会を提供することで、各団体の活動のステップアップを後押しし、市民協働の輪を地域全体へと広げていきます。

4. 企画内容

市民と多種多様な市民活動団体等との新たな出会いを創出します。地域の課題解決やまちづくりに関心を持つすべての方々を対象とし、誰もが楽しみながら市民活動に触れられる多彩な催しを実施します。

ターゲット層:

- なにか新しい活動を始めたいと考えている市民(全世代)
- 地域の課題解決やまちづくりに関心のある方
- ボランティアやNPO活動に興味のある学生・社会人
- 市内で活動する市民活動団体、NPO法人

主な催し:

- **ブース参加:** 約 100 の参加団体(市民活動団体・企業・学校・行政等)が、日頃の活動内容を趣向を凝らして紹介します。活動を体験できるワークショップなども開催し、来場者との直接的な交流を図ります。
- **パネル展示:** 約 15 の団体が、詳細な活動内容や社会的な成果をパネルで分かりやすく紹介します。
- **コラボパフォーマンス:** 約 12 の団体が、音楽、ダンス、演劇など、文化・芸術分野の団体が日頃の練習の成果を発表しつつ、コラボレーションによるステージを展開し、イベント全体を盛り上げます。
- **団体を「見る・知る・体験する」スタンプラリー:** 会場内を巡りながら各団体のブースを楽しく訪問できる参加型企画です。市民活動の多様性を体感でき、一定数回った方は協賛企業提供の景品と交換ができます。

5. 期待される効果

本イベントの開催により、以下のような効果が期待されます。

- **市民の地域活動への参加促進:** 来場者が自身の関心と合致する団体と出会うことで、イベント後も継続的にボランティアやプロボノとして活動に参加するなど、新たなまちづくりの担い手が生まれます。
- **団体間の協働による新たな価値創造:** 異なる分野の団体同士が連携することで、単独では解決が難しかった地域課題に対する新たなアプローチや、より波及効果の大きい協働プロジェクトが創出されます。
- **市民活動全体の活性化:** 参加団体が新たな会員や寄付者を獲得し、組織基盤が強化されることで、府中市全体の市民活動がより一層活発になり、地域の魅力向上につながります。

6. 集客目標

昨年度は 2 日間で 8,560 名の方にご来場いただき、市民の高い関心を示すことができました。今年度は、より一層魅力的な企画と広報展開により、昨年度を上回る 10,000 名の来場者数を目指します。

昨年度実績
8,560 名

今年度目標
10,000 名

7. 広報計画

より多くの市民に本イベントの魅力を伝え、来場を促進するため、デジタルとリアルを融合させた多角的な広報活動を展開します。

- **デジタルメディア:** 公式ウェブサイト、SNS(X, Instagram, Facebook)、YouTube チャンネルにて、参加団体の紹介や企画の進捗状況などを継続的に発信し、イベントへの期待感を醸成します。
- **行政との連携:** 府中市 LINE 公式アカウント、府中市メール配信サービス、自治会回覧板などを活用し、市内全域へ確実に情報を届けます。
- **紙媒体:** 市内公共施設、駅、協力店舗等へのポスター掲示やチラシ配架を行い、市民の目に触れる機会を最大化します。